



私のひとりごと

「台風に向かって」

行楽の秋ということで、先月の10月26日、バス1台を手配して小旅行を行った。そもそも旅行を計画したきっかけは先々月の9月、業者さんを集めて行ったバーベキューの時のこと。「また皆でどっか遊びに行かんのか？」という業者さんからの一言であった。そういえばここ2、3年行ってないな〜と思いつつ、その場での即答は控えた。何故なら、いざ企画を立てて募集をかけても、「忙しい」とか「予定がある」だとか、そういった理由で断られる事が多く、バス一台を満席にするのは並大抵なことではない。そんな事を、過去幾度となく経験していたからである。

ところが10月に入って間もなく、今度は別の人から「旅行いかなの？」と聞かれ、不用意にも「行きます。」と答えてしまった。行くと決まればやるしかない。早速バス会社に電話を掛けるも、「その日は一杯で空いてないよ」との事。よくよく考えれば行楽シーズンの真っ只中である。福井県中のバス会社でたった一台だけ空いていたと確定の連絡を受けたのは10月も中旬近くになってから。当初から行き先は奈良方面と決めていたが詳細はなかなか決まらず、悩んだあげく京都水族館にも立ち寄り事にした。本格的な募集を始めた時は、すでに旅行当日の一週間前になっていた。不安の中で募集にまわる。ところがやってみないとわからないもので、たったの3日で満席となった。どうやら京都水族館をコースに入れたことが功を奏し、お子様連れの参加者が増えたためである。“やれやれ”と胸を撫で下ろしたのも束の間。今度は台風27号が発生し、天気予報を見る限り、どう思案しても直撃は避けられない様子。台風に向かって進む様なものだ。一日に何度となく台風情報をチェックするがどうにかなる訳もなく、「成るように成る。」と割り切って考えるしかなかった。そんな思いが天に通じたのか？台風の進路はそれと、当日の天気は曇り。時折、太陽も顔を出し、京都に向かう途中では空にきれいな虹まで掛かるといふ、神様からのサプライズまで用意されていた。正直その虹を見た時、一ヶ月ぶりに心からホッとした。大げさな様に思われるかもしれないが、物事を一から計画し、最後まで完結させる事は、計画の大小に関わらず非常にスリリングなものである。スリルを追い求めた人生を送りたい方には、是非お勧めしたいが(笑)。



そう考えると、一事が万事、私の人生はスリリングそのものである。息子達からは、“泥棒を捕まえてから縄を探す様な事”をしないで、計画性を持って物事を進めたら？と、ご指導を受けることも多いが、全く返す言葉もない。勿論、計画性の重要さは骨身に沁みている？が、どうやらこういう性格だと開き直ってしまっている。旅行一つ取ってもこのような始末で何が起こるか解らない。増して、人生ともなるとますます解らない。仮に計画通りに事が進むに越した事はないが、それでは全く面白みもなく、この世から「努力」の文字も消えてしまうであろう。半ば開き直りであるが、波乱万丈くらいが丁度良いと自分自身を慰めている…。そういえば、「若いうちの苦労は買ってでもしなさい」という言葉があるが、買ってまで苦労するほど若くもなく、ならば「苦労は財産、難儀は取徳」と考えることにしている。適切な例えとは言えないが、“台風に向かってでも進む”熱いハートは持ちたいものである。

ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき…、

あーがしう
ごぞいました!!

